

I 教育目標	
<p>人権尊重の精神を基盤として、家庭や地域と連携し、心豊かでたくましい大島っ子を育成するために次の目標を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○げんきなこども ○かんがえるこども ○やさしいこども 	

II 経営方針	
目指す幼稚園像	<p>みんなの笑顔が輝く幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> ○幼児の毎日が「やりたいこといっぱい」の幼稚園 ○教職員にとって「生き生きと力を発揮し、働き甲斐がある」幼稚園 ○保護者や地域が「共に地域のこどもを育てる仲間」と感じられる幼稚園
目指す幼児像	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣や態度を身に付け、心身ともに健やかに、主体的に遊ぶ幼児 ○考えたり、試したり、挑戦したりしながら、夢中になって遊ぶ幼児 ○多様な文化に触れ、互いのよさや違いを認め合い、自分も友達も大切に作る幼児
目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> ○幼児一人一人の「今」を大切にしたい取組を進める教師 ○熱意と向上心をもって楽しんで保育する教師 ○意欲的に職務に取り組み、同僚と協働して教育活動に取り組む教師 ○保護者の多様な実態に寄り添い、子育てを支える教師
経営理念	<p>「こどもの最善の利益」を第一に考え、教職員、保護者、地域がつながり、知恵と力を結集し、教育活動を推進する。</p> <p>1 本園の使命 幼児期は生涯にわたる人格形成の基礎を培う時期であることを鑑み、遊びを通して一人一人が自己を十分に発揮するとともに、互いによさや違いを認め合い、誰とでも協同することのできる、心豊かでたくましい幼児を育てる。</p> <p>2 教育活動で目指すもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ①多様な文化に日常から触れることのできる環境や、少人数のよさを活かした教育を推進し、「自分が好き」「友達が好き」と思える幼児を育成する。 ②園に関わる全ての大人が共に幼児教育・子育てに携わる喜びや楽しさを実感し、協同して教育活動に取り組むことにより、幼児の心の安定を図る。 ③生きる力の基礎を育むため、3つの資質・能力（「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力の基礎」「学びに向かう力、人間性等」）を育み、就学前教育の充実を図るとともに、架け橋期の教育として小学校教育へ滑らかに接続できるようにする。 <p>3 将来像</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域の就学前教育施設、近隣小中学校との連携を深め、更なる教育の充実に努める。 ②地域の親子が集い、共に子育ての楽しさや喜びを感じられる場となる。

Ⅲ 経営目標

重点領域 1		健康で心豊かな幼児の育成
中期経営目標	伸び伸びと遊ぶことを通し、心も体も健やかな幼児の育成につながる教育の推進	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ○自分のことは自分で行おうとする意欲や態度を育む。 ○様々なことに関心を寄せ、考えたり、自分なりに関わったり、試したりする楽しさを感じられるようにする。 ○自分の思いが伝わる嬉しさや様々な考えや文化を知る喜びを感じられるようにする。 	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	・文化の違いによる生活習慣の違いを理解し、各家庭との連携を密にしながら、幼児の生活習慣の確立を図る。	・保護者アンケートの「お子さんは基本的な生活習慣を身に付け、自分のことは自分で行おうとしている」の肯定率を100%にする。
2	・幼児の実態把握を丁寧に行い、幼児の発達や育ってきた背景、今の実態に即した活動の精選や指導の工夫を図る。	・保護者アンケートの「お子さんは園生活を楽しみ、自信をもって遊びや活動に取り組んでいる」の肯定率を100%にする。
3	・幼児が「やってみたい」と思えるような魅力的な運動遊びの物的環境を工夫するとともに、魅力的なモデルとしての人的環境を整える。	・保護者アンケートの「お子さんは様々な環境に関わり、体を動かすことを楽しんでいる」の肯定率を100%にする。
4	・一人一人の思いを丁寧に受け止め、幼児が自分の思いが言葉やしぐさなどにより相手に伝わる嬉しさや相手の考えを知ることができる喜びを感じられるような指導の工夫を図る。	・保護者アンケートの「お子さんは自分の思いを言葉やしぐさで伝えたり、相手の話に関心をもち聞いていたりしている」の肯定率を100%にする。

重点領域 2		教師の指導力の向上
中期経営目標	教師が互いに認め合い、高め合い、保育の充実を目指す	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ○幼児の発達や実態を丁寧にとらえ、一人一人の今を大切に教育を行う。 ○自己課題と向き合い、評価、反省を次へ活かす指導を行う。 ○架け橋期の教育（育てたい3つの資質・能力）を意識して取組を進める。 	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	・一人一人のよさや「今」の実態を丁寧にとらえ、適切な指導を行うために、日々の打ち合わせに加え、学年会や年2回のSCとの園内委員会を通し、より幼児理解を深め、保育を行う。	・保護者アンケートの「幼稚園は幼児一人一人のよさを認め、力を発揮できるような教育活動を進めている」の肯定率を100%にする。
2	・自己の課題やチャレンジしたいことを自己申告書に記し、具体的な方策を立て、改善や達成に向けて努める。	・保護者アンケート目標の達成を100%にする。
3	・就学前教育スタンダードや育みたい3つの資質・能力への理解を深め、幼児が様々な経験を重ねることができているのかを振り返り、次へ活かす保育を行う。	・保護者アンケートの「お子さんは様々な教材や活動に積極的にに関わり、経験の幅を広げている」の肯定率を100%にする。

重点領域3		子育て支援の充実・地域との連携	
中期経営目標		保護者や地域から愛され、信頼される幼稚園づくり 幼児教育のセンターとしての役割を果たす	
短期経営目標		○幼児が様々な人や文化に触れることができるよう、保護者の力を生かした教育を推進する。 ○幼稚園の教育内容や必要な連絡事項を分かりやすく発信する。 ○地域の架け橋期の教育の推進、地域のこどもを共に育てるために、近隣保育園、小中学校との連携を深める。 ○子育ての喜びを感じられるよう「かんがるーひろば」「にこにこたいむ」の充実を図る。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）	
1	・多様な文化に触れることのできる行事や保護者のもつ教育力や得意なことを生かした行事の工夫を行い、保護者も幼児も楽しんで参加できるようにする。	・保護者アンケートの「幼稚園は保護者の力を生かした教育活動を行っている」の肯定率を100%にする。	
2	・配布物は言葉を少なく、分かりやすくするとともに、3か国語のものを用意し、誰が見ても分かるようにする。 ・HP、Instagramを週1回更新するとともに、写真掲示を通して保育内容の発信を行う。	・保護者アンケートの「幼稚園からの教育内容に関する発信は園生活の様子や幼児の成長が分かりやすい」の肯定率を100%にする。	
3	・年度当初に保育園、近隣幼稚園や小学校との交流計画を立て、年間を通して交流することで、親しみや憧れの気持ちが育まれるようにする。 ・江東区連携教育の日に幼児の姿を見てもらう機会を生かし、幼児から中学生までを通した近隣のこどもたちの学びについて話し合い、互いの教育への理解を深め、こどもたちの学びにつなげる。	・保護者アンケートの「お子さんは近隣保育園や小中学校との交流を楽しみ、小中学生へのあこがれの気持ちをもっている」の肯定率を100%にする。	
4	・未就園児親子登園を年間10回実施し、内容の充実を図り、地域の子育て支援を行う。 ・預かり保育（にこにこたいむ）を年25回実施し、保護者のリフレッシュにつなげる。	・保護者アンケートで「にこにこたいむは、保護者のリフレッシュにつながっている」の肯定率を100%にする。	

重点領域4		安心・安全な幼稚園づくりの推進	
中期経営目標		教職員の安全管理・危機管理意識や能力を高め、安心・安全な教育環境を整える	
短期経営目標		○教職員一人一人の危機管理意識を高め、役割を果たすとともに、チームとして連携を図り、安心・安全な環境づくりを行う。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）	
1	・毎月の避難訓練を通し、緊急時の対応について共通理解を図り、全教職員の対応力を高める。	・保護者アンケートの「幼稚園は緊急時に幼児の安全を守る環境を整えている」の肯定率を100%にする。	
2	・毎月の安全指導・避難訓練を通し、幼児が安全に対する意識を高めたり、緊急時の行動を理解したりし、自分の身は自分で守れるような指導を行う。	・保護者アンケートの「お子さんは安全な遊び方や緊急時の行動の仕方が分かり、身についている」の肯定率を100%にする。	
3	・毎月の安全点検に加え、日々の点検において異常箇所や危険箇所が見つかった場合は、所管課と連携を図り、速やかに対処し、安全な環境を整える。 ・確実な施錠を行い、安心して生活を送れる環境を整える。	・保護者アンケートの「幼稚園は安心・安全な教育環境を整えている」の肯定率を100%にする。	